

江戸時代、「天下の貨七分は浪華にあり、浪華の貨七分は船中にある」といわしめた水都・大阪。今回紹介するのは大阪の水運を支えた市内で最も古い堀川である東横堀川の魅力を、川に架かる七つの橋を切り口に伝えるまち歩きだ。4月10日からスタートする「大阪あそ歩10春」の105コースのうちのひとつで、実施日は4月17日と5月1日。コース名は「東横堀見聞録」天下の貨の七分は浪華に

大阪あそ歩

～街の達人たち～

東横堀

経営史学会会員 山岡光雄さん



あり！」で、水辺のイベントの開催ムページ (<http://www.osaka-aobo.jp>) から予約受け付けを開始している。

◇ 岡光雄さん。大阪の発

ガイドを務めるの展に貢献した企業家たちを展示している「大東横堀川」を指し、阪企業家ミュージアム

スタートは中央区北浜1丁目の大阪証券取引所。建物の前には創設者である五代友厚の像があり、大証と五代の話だけでも山岡さんの話はつきない。

東横堀川は、大坂城築城のころ、外堀として掘られた。「水運、防衛、(土地が低かった) 船場側に掘った土を盛るといふ三方よしだった」(山岡さん) という。商人のまち船場と大坂城下の上町をつなぐ七つの橋は葭屋橋、今橋、高麗橋、平高麗橋東詰めで擬宝珠の横に立つ山岡さん(左)と陸奥さん

東横堀見聞録

天下の貨の七分は浪華にあり！」

高麗橋東詰めで擬宝珠の横に立つ山岡さん(左)と陸奥さん

野橋、大手橋、本町橋、農人橋。なかでも高麗橋は、公儀橋として最重要視され、西詰には御触書を掲げる高札場、東詰には諸国への距離を測った起点の里程元標が設けられた。公儀橋だけに許される飾り擬宝珠もある。

高麗橋の西側にあるひょうたんをイメージした外観のホテル「シ9(1724)年創業 ティアラザ大阪」。老の婚礼儀式品店。現在 舗喫茶店「ゼー六」の

は9代目当主が経営しているながら足湯につかる。天然温泉が無料というのがうれしい。

野橋、大手橋、本町橋、農人橋。なかでも高麗橋は、公儀橋として最重要視され、西詰には御触書を掲げる高札場、東詰には諸国への距離を測った起点の里程元標が設けられた。公儀橋だけに許される飾り擬宝珠もある。

高麗橋の西側にあるひょうたんをイメージした外観のホテル「シ9(1724)年創業 ティアラザ大阪」。老の婚礼儀式品店。現在 舗喫茶店「ゼー六」の



大阪証券取引所の前につくられた五代友厚像

○…スポット、スポットで山岡さんの知識があふれ出してくる。それが少しも押し付けがましくないのは、山岡さんの中で物語として血肉化しているからだろう。大阪は物にも場所にも物語がぎっしり詰まっているとあらためて教えてもらった。

(木下功)